

今月号のトピックス

- ・1学期中間テスト対策
- ・北辰テスト 日程
- ・入試の面接
- ・2026年公立高校入試
各教科の得点状況

1学期中間テスト対策

- 4月14日（火）からテスト対策期間がスタートしました。
- 中間テストがない学校の生徒さんには、中間テスト勉強期間はありません。通常授業を行いますので、通常授業の時間に教室へいらしてください。
- 今後のテスト日程の把握のため、学校から年間行事予定表が配られたら、塾へもってきていただけますと助かります。
- また、テストの範囲表が配られたら、塾へもってきていただけますと幸いです。

GWの休みのお知らせ

☆休みになる期間

4月29日（水）～5月6日（水）

☆通常授業の生徒さんには宿題をお渡しいたします。テスト期間の生徒さんは、休み明けに確認テストを行います。

編集

山口将志
大崎拓己

中村貴宏

北辰テストについて

☆2026年度の北辰テストの日程は以下の通りでございます。

☆塾での申込期間と、個人で申し込みされる場合の期間は異なっております。あらかじめご了承ください。

3年	回次	テスト日	成績web確認開始日
	1	4/26(日)	5/13(水)
	2	6/21(日)	7/1(水)
	3	7/19(日)	7/29(水)
	4	9/6(日)	9/16(水)
	5	10/11(日)	10/21(水)
	6	11/8(日)	11/18(水)
	7	12/6(日)	12/16(水)
	8	1/31(日)	2/8(月)

2年	回次	テスト日	成績web確認開始日
	1	6/21(日)	7/3(金)
2	3/14(日)	3/24(水)	

1年	回次	テスト日	成績web確認開始日
1	3/14(日)	3/24(水)	

入試の面接

今年から公立高校の受験生に、一律で面接が課されるようになります。

今までも市立川越高校や、狭山清陵高校などで面接が行われてきました。これらの高校の面接は「志望動機」「高校に入ってやりたいこと」「中学で頑張ったこと」などといったオーソドックスな質問が問われてきました。

しかし今年からの面接は、まず初めに受験生が自分のことを1分30秒から2分ほどで語り、それに対して面接官が質問をする、という形式になっているそうです。自分について語る時間には「My Voice」という名前がつけられています。

県の教育委員会のサイトに掲載されているMy Voiceの例としては「ピアノを通じて学んだことについて」といった習い事をテーマにしたものから「保健委員会活動を通して成長したことについて」という学校生活に根差したものや「私の強みについて」という、やや抽象的なものまで挙げられています。

また1分30秒程度の長さで話をする場合、500文字ぐらいの文字数が必要です。原稿用紙が1枚で400文字ですから、2枚目の半ば程度の文字数は必要かもしれません。ちなみにこの記事の分量が600文字程度です。

自分のことを自分の言葉で表現する、というのは少し難しく感じられると思います。そういう時は、軸を一つ設定すると書きやすいです。例えば「部活動」「習い事」「将来の夢」「高校で挑戦してみたいこと」などです。

これから先、就職活動などで面接を行う機会があると思います。就職活動の面接では、学生時代に力を入れたことや自己PRを聞かれたりするので、今までの面接に比べて、My Voiceを行う面接はかなり実用的な制度です。また、今までの自分を見つめ直すいい機会にもなります。なんとなくでいいので、今から書く練習をしておく、直前に困らずに済むかもしれません。

(大崎)

2026公立高校入試、各教科の得点状況

2026年の公立高校入試が終わってから少し時間がたってしまいましたが、多くの受験生たちが入試の開示得点を報告してくれたので、その結果について書きたいと思います。
(報告をくれた受験生のみの平均になります。)

国語	社会	理科	数学(学力検査)	数学(学校選択)	英語(学力検査)	英語(学校選択)
69.5	79.7	74.5	55.5	61.0	58.5	55.9

※学校選択問題は上位校が採用している難しい問題になります。それ以外の学校は学力検査問題を使用しています。

学力検査と学校選択の平均点があまり変わらない状況になっています。少し前までは学校選択問題が非常に難しく、平均点がかかなり低く出ていましたが、ここ数年は「しっかり勉強すれば得点することができる」問題になっている印象です。以前は「学校選択の数学、英語はあまり差がつかない」と言うこともありましたが、今は勉強次第で十分に差をつけることができる教科と言えるでしょう。

もう1つ注目してもらいたいのが、理社の点数です。国、数、英と比較してかなり高い点数を山口学習塾の受験生たちは取ってくれました。全県の平均点は、国語60.9、社会66.8、理科63.2、数学(学力検査)50.4、数学(学校選択)57.3、英語(学力検査)52.1、英語(学校選択)61.2ですから、当塾の昨年の受験生たちは「理社でほかの受験生たちに差をつけた」と言っているかと思います。

その一方で学校選択の英語には課題があったともいえるので、新しく加わった英語担当の中村には入試に向けて十分に準備してもらおうと思います。今年から公立高校の入試制度が大きく変わります。今までの当塾の強みはそのまま生かしつつ、新たな入試に対応できるように準備していきたいと思っています。
(山口)